

**3点目 安全で良好な住宅の確保**  
安全で良好な住宅の確保と、消費活動を促し地域経済の活性化を図るため、町民が行う個人住宅の改良支援や木造住宅耐震診断者派遣事業を行ってまいります。

**4点目 環境にやさしい新エネルギー利用の促進**

地球温暖化防止や循環型社会の形成およびエネルギー源の多様な観点から環境にやさしい新エネルギー利用の促進を図るため、引き続き一般家庭において住宅用太陽光発電および太陽熱利用システムを設置された方への助成を行うと共に、環境問題に対する認識を深め、町民、事業所、行政が一体となった取り組みを進めていくため、温暖化対策検討委員会などの協力を得て、人と自然が共生する環境に優しい町づくりを目指してまいります。

**5点目 町民が安心して過ごせる環境づくり**

防災対策については、安全安心な町づくりに向けて防災行政無線の改修や全国瞬時通報システムの導入を図るなど消防防災設備の充実強化に努め、今年度も行政・警察・地域・各種団体が協力して、防犯意識の向上に努めると共に、消防設備の充実や住宅用火災報知器の普及促進を図るための支援事業の継続、さらには防災行政無線



町の防災行政無線

改修整備のための基金積み立てを行うなど、町民が安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。

**第3は「産業の振興」**

**1点目 食料自給率の向上**

農業の振興につきましては、本年度から主食米の「生産数量目標」を守った販売農家を対象に、全国平均の販売価格と生産費との差額を補う「米個別所得補償モデル事業」と、麦、大豆や米粉用米、飼料用米などの戦略作物を水田で作る販売農家を対象に支援する「水田利活用自給力向上事業」を推進し、併せて食料自給率の向上に努めてまいります。また、平成12年度より導入された中山間地域等直接支払推進事業も、第3期対策として継続され、中山間地域等における平場との農業生産条件の不利を補正するための施策として高齢化の進行にも十分配慮し

**第5は「教育、文化の振興」**

**1点目 生きる力を育む**

「生きる力」を育み、夢や目標を持ち、学ぶ意欲にあふれたたくましい子どもを育てるため、引き続き「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した取り組みを進めてまいります。

特に、特別支援教育については、1人ひとりの子どもの持てる力を高めるため、支援員を小学校ならびに中学校に配置し、支援教育の充実を努めてまいります。

また、活用する力の充実を目指し、福島工業高等専門学校との産学官連携事業の一環として「出前授業講座」の開催に取り組んでまいります。

**2点目 サポートなど支援体制の強化**

サッカー国際人材育成プログラム支援事業については、アカデミー福島の第5期生14人が広野中学校に入学することとなり、1期生から5期生まで総勢74人の生徒たちが広野町で生活することになります。また、双葉地区教育構想の連携型中高一貫教育として第2期生が富岡高校に進学し、第1期生と併せさら

**3点目 童謡の振興と創造**

童謡の振興と世代を超えて歌い継がれる新しい童謡の創造を目指し「ひろの童謡まつり」を開催し、童謡の町づくりを進めてまいります。



昨年のひろの童謡まつりの様子

**4点目 町民スポーツの振興**

第2回広野町みかんロードレース大会を開催し、町民スポーツの振興、健康保持増進を図ると共に、全国に情報発信しながら多くの参加者を得て、町のイメージアップや産業などの振興につながる大会となるよう努めてまいります。さらに、近く設立を計画していま

**2点目 造林事業を推進**

町内の松林は依然として松食い虫の被害状況にあることから、駆除対策に努めると共に、山林の手入れとして除伐、間伐などの造林事業を推進してまいります。

**3点目 商工業の支援**

現下の不透明な雇用情勢を踏まえ、緊急雇用創出基金事業を活用し、離職を余儀なくされた非正規労働者に対して雇用、就業機会の創出に努めてまいります。また、日本純薬株式会社広野工場と富士フィルムフラインケミカルズ株式会社広野工場より増設の報告をいただき、大変心強く感じた次第であります。景気の影響は持ち直しの動きがあるものの、雇用や個人消費の伸び悩みなど、依然として厳しい経済情勢であることから、引き続き、中小企業保証融資制度の保証枠を確保するなど、商工業の支援に努めてまいります。

**第4は「交流活動の推進」**

**1点目 交流活動の推進**

高速道路ネットワークやJウィレッジを活用した交流人口などを

た制度に見直されたことから、引き続き農地の保全や多面的機能の確保に努めてまいります。



第1回みかんロードレースの様子

す総合型地域スポーツクラブが中心となり、多くの町民の皆さまが気軽にスポーツや文化活動に参加しやすい機会を拡大し、スポーツの振興や健康保持増進、生きがいづくりを、活気あふれる町づくりを推進してまいります。

また、これらの環境整備として、テニスコート北側に多くの町民の皆さまが多目的に利用できる人工芝の多目的運動場を整備すると共に、中央体育館の耐震化を図り利用者の安全確保に努めてまいります。

**第6は「行財政改革」**

地方公共団体における行財政改革の推進のための新たな指針により策定された「集中改革プラン」に基づいて事務事業の再編・整理、廃止・統合、経費節減などの財政効果



6号国道に面する観光拠点二ツ沼総合公園

最大限に生かし、広野町の情報発信および観光交流拠点である二ツ沼総合公園の既存施設を有効活用して、交流活動の推進を図ってまいります。また、スポーツ合宿の誘致やイベントの開催など、地域の特性を活かした広野町の魅力づくりに努めると共に、町民はもとより町外からの集客の増加を図るため、指定管理者をはじめ、町商工会、観光協会などと連携し広野町のPRと誘客に努め、地域活性化を進めてまいります。さらに、昨年度からアカデミー福島主催による各種大会や交流試合が開催され、県外からの交流人口も増加しており、今後、広野町のPRおよび活性化に繋がるものと期待しております。

また、災害時における相互応援協定の締結を契機として地域間交流を行っている三郷市や従来から交流のある伊東市などと文化・スポー

職員全般にわたる定員管理、給与の適正化等の見直しを積極的に推進してまいりましたが、景気低迷に伴い税収がさらに減少し来年度は普通交付税の交付団体なる見込みなど、厳しい財政状況が続くことから、その検証とさらに行財政改革を進めるため行政改革推進委員等外部の意見を拝聴しつつ新たな指針の策定など、収支均衡型の財政運営の実現に取り組んでまいります。

**「平成22年度 広野町一般会計 予算案」の概要**

平成22年度の予算編成に当たっては、本町を取り巻く財政状況がさらに厳しさを増してきていることを認識し、限られた財源を最大限有効に活用するとの観点から、経費の一層の節減合理化と引き続き行政各般にわたる見直しを行うこととし、また、各種施策の優先順位につきましては、費用対効果を勘案した厳しい選択を行うと共に、社会経済情勢の変化を踏まえ、福祉教育を中心に安全・安心の確保にも配慮し「安心・安全、豊かで住みよい町づくり」の実現に向け編成したところであります。

一般会計は、総額34億9,642万9,000円の予算規模で、対前年度比1.0パーセントの減となるものであります。

まず歳入面では、当町の主要財源であります東京電力広野火力発電所に係る固定資産税の減減に加え